

## 第1回出雲市東部都市拠点地区活性化協議会

と き 平成22年2月16日 10:00～

ところ 平田商工会議所 2階 大会議室

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

本日の議題にも挙げられている一畑電車デハニ50形に関連して、先般映画「RAILWAYS」試写会が行われたが、家族愛に溢れた大変良い作品になっている。5月29日に公開されるので、地域を上げて応援していきたい。

また、先週末には木綿街道において「もち街」イベントも開催され、沢山の人で賑い喜んでいくところである。

昨年8月28日に法定協議会を解散し、任意の協議会としてやっていく事になったが、引き続き皆様から忌憚のないご意見をお願いしたい。

### 3. 議事

#### (1) 一畑電車デハニ50形活用について

立石委員より、一畑電車デハニ50形活用検討協議会（会長：島根大学法文学部 飯野公央准教授）がまとめた「一畑電車デハニ50形の活用に向けた提言」について説明。

現状を維持しつつ運行となれば、ATS設置や防火対策、自動ドア化など大規模な改修（1両当たり2億4千万円）が必要でありハードルは高い。

4月23日から県立古代出雲歴史博物館で開催される特別展「BATADEN～一畑電車100年ものがたり」に合わせ、出雲大社前駅でのデハニ車輛展示も計画しているが、現状では営業線を走らせる事ができないので、夜間路線を閉鎖して移動させなければいけない。

映画「RAILWAYS」公開で県内外から多くの人があると予想される。ぜひ平田駅での車輛展示、駅構内あるいは駅周辺の空店舗等での資料展示をすべきである。

#### (2) 木綿街道整備について

まちづくり交付金事業については、平成19年度の計画策定から5年間の予定で事業を実施しているところであり、平成22年度には片原町の舗装工事・サイン整備をする予定である。平成23年度には橋梁美装化・照明灯整備を実施し、まち交事業が終了する。

旧石橋酒造建物については、平成20年度予算において債務負担行為が認められ、現在出雲市土地開発公社が所有しているが、平成24年3月には出雲市が買い戻す事になっている。ただし、維持・修繕は市がする事になっており、小規模な修繕を実施してきている状態である。

地元からはイベント等に活用したいので、常時使用できる状態にして欲しいとの申し出があったため、平成22年度で屋根工事・雨漏りによる床修繕工事、また、昨年秋に剥落した西側壁面の漆喰補修工事を予算要求しているところである。

昨年秋に地域住民によって建物内部の掃除やゴミの撤去作業を行ったが、まだ相当残っているため、雨漏りの修繕に合わせてゴミ処理をお願いしたい。

新町・片原町的美装化は進んでいるが、一方では宮ノ町に人が流れなくなった。一体感を持たせるため、ぜひ宮ノ町についても今後同様の整備をお願いしたい。

元町中ノ島線の橋は平成23年度末までに完成するが、新大橋に関して、以前（船川が船が往来していた頃）は、新大橋は開閉橋だった。街のシンボリック的存在として復活させることは難しいだろうか。

#### 4. その他

山崎委員より、愛宕山公園の現状と改修起案書について説明。

昨年は廻の奥池での死亡事故もあり、指定管理者として危険箇所調査を実施したところ資料に示すような状態であったが、これは抜粋であり実際にはこの3倍程度ある。

安心安全な公園づくりの観点から、県道小伊津港線（正面入口）側の改修や地すべり対策等が必要である。

動物公園としての公園づくりの観点から、鹿による農作物への被害と鹿の飼育の矛盾、近親交配による奇形化を懸念する一方、山陰唯一の動物公園としての期待や評価が大きい事への対応・検討が必要である。

住民が楽しめる公園づくりの観点から、桜の名所、山頂からの眺望、スポーツ施設との融合といった機能の充実を図る検討が必要である。

全面改修に掛かる費用を市が予算化するの難しい事は分かっているが、それよりも、公園整備を望む地域住民や各種団体の意思統一を図る組織がないのが問題である。

最近では駐車場や動物公園のある裏側（西側）から来る人が圧倒的に多いが、県道小伊津港線（正面入口）側をきちんとした上で、木綿街道やゆらり・ぶらりからの散策コースとして一体的な整備をすべきである。

湯谷川改修について、駅通りから上流に向かっての家屋移転が進んでいるが、川幅が広過ぎて流れがなくゴミが浮いて汚れている。また、移転補償交渉を優先して行えば家屋の新築が促進され、工務店等への経済波及が大きいと思うが、今後の工事について見直す余地はあるのか。

川幅については、増水やそれに伴う宍道湖からの逆流に対するキャパシティが無ければならないので、平時の状況だけで計画を変更することはできない。現に、これまで大雨で

冠水していた地区の水の引きが早くなっており治水効果が現れている。家屋移転については、用地買収だけを進めて取得した土地を遊ばせておくことが事業の目的に合致しているか疑問である。ただ、雲洲平田船川のように川幅はそのままで水の流れる部分だけを狭めることで流れを作るという方法はあるかもしれない。

平田地域でのイベント開催について、木綿街道や唐川新茶まつり等市外から呼び込んでいるものが沢山ある。色々なイベントを共同開催することで、平田に来れば半日あるいは1日潰せるという検討してもらいたい。

本町通りの利便性を図るための駐車帯設置について関係機関との調整を行っている。環状線開通により車輛通行量も減少しており、また、最近では高齢者や障害者、妊婦さんに配慮したまちづくりを推進する風潮もあることから、市場から南本町までの約350mの間の数箇所に設置したいと考えている。

## 5. 閉会